
1000年後の世界

周喻公瑾

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

1000年後の世界

【Nコード】

N3455B

【作者名】

周喻公瑾

【あらすじ】

約1000年後の世界はどうなっているのか？私の予想を書いた作品です。私の貧相な想像力で書いた作品ですがしばらくお付き合い下さい

争いの予感

2800年5月。世界はついに三分された。

ヨーロッパ全域を領土とする

「EU英国平和連邦」

主にアジアを領土とする

「JCR（日中露）国際協力機構」

北南アメリカ大陸を領土とする

「大米帝国」

これら主な3つの国により世界は支配された。しかし例外として中東のイラク、イラン、アフガニスタン、そしてオセアニアのいくつかの国は独立国としての立場を守っていた。JCRとEU連邦は間に中東の独立国があるため主な大戦は行われてはこなかった。しかし、中東のアフガニスタン、イラクがEU連邦と同盟するという噂が流れ始めた。もしそれが実現するならもともと戦力の低いJCRは窮地に立たされる。当然そうになるとJCRは焦りをみせる。ついにこの二つの強国にも暗い空気がながれてきた。

また、英国とアメリカは歴史的に協力関係にあるため大米帝国とEU連邦は両国不侵攻条約を結んでいたが、EU、米国共有領土の大西洋セントヘレナ島で金山が発見された事により両国の関係は急激に悪化し始めた。

…そう…上手く三分されていた世界に危険な空気がながれてきたのだ…時は2900年8月である…

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3455b/>

1000年後の世界

2010年10月28日08時13分発行